

第7回「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」10名の受賞者決定

資生堂は女性研究者を支え、指導者の育成をめざす第7回「資生堂 女性研究者サイエンスグラント※1」の受賞者10名を、3月8日(土)「国際女性の日」の前日となる7日(金)に選出しました。

受賞者には、資生堂から各100万円の研究助成金を贈呈します。授賞式は2014年6月に資生堂リサーチセンター新横浜で開催を予定しています。 ※1: グラントとは「研究助成金」の意味

「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」設立の背景

資源の少ない日本では、科学技術の振興が不可欠です。この分野は人材確保が課題で、その対策の一つとして、女性研究者をどう活かしていくかに注目が集まっています。昨今、女性の活躍が経済成長に欠かせない中で、企業・大学を問わず女性の登用も焦点となっています。

日本の研究者に占める女性の割合は14%に留まっており、諸外国(英38.3%、米34.3%)と比べて下回っています※2。女性は男性より「出産・育児・介護」の影響を受けやすく、サポートする環境が不十分なことが背景にあります。大学等で研究に携わる女性を見ると、工学分野の研究者に占める女性の割合は9.2%、理学で13.0%、農学19.6%に留まっており、助教・講師・准教授・教授と職位が上がるにつれて女性の割合が低くなる傾向があります※2。資生堂はこうした状況を踏まえ、指導的研究者を目指す女性を毎年10名選び、支援する「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」を2007年度に設立しました。

※2: 内閣府 平成25年版男女共同参画白書より



「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」について

本グラントは年齢制限を設けず、研究分野も「自然科学全般」としています。他機関の研究助成が使用道を試薬や機器の購入などに限定する中、本グラントは、女性研究者が「出産・育児・介護」などの影響を受けずに研究を続けられるように、研究補助員の雇用費も含め、幅広く活用することができます。今年は200件以上の応募がありました。その中から、科学界、男女共同参画の面においてもリーダー的存在の研究者で構成される審査委員会によって将来性が期待できる10名を選出しました。これまで歴代受賞者59名のうち27名が受賞後に昇格・栄転されました。

未来の科学者を育てる「資生堂サイエンスカフェ」

2011年度からは、未来の科学者を育てる活動として、本グラントの歴代受賞者たちが理系志望の中高生と研究の面白さを語り合う「資生堂サイエンスカフェ※3」を開催しています。今回は、3月15日(土)に「資生堂サイエンスカフェ in 上智大学」を開催します。前回受賞者の鈴木由美子先生(上智大学理工学部 准教授)が中高生にエールをおくります。今後も、第一線で活躍する女性科学者たちが中高生らと科学について気軽に語り合う場を設けることで、理系のロールモデルを示し、市民と科学技術を繋いでいくことを目指します。



2014年1月に開催された「サイエンスカフェ in 山形大学」

※3: カフェのような雰囲気の中で、科学について自由に語り合うコミュニケーションの場

第7回 資生堂 女性研究者サイエンスグラント 受賞者一覧 (助成期間:2014年6月~2015年5月)

敬称略、氏名五十音順

氏名	所属	職位	研究分野・申請研究テーマ (ひとこと説明)
いけだ まりこ 池田 真理子	神戸大学大学院 医学研究科 小児科 こども急性疾患学	特命講師	【臨床遺伝学・分子生物学】 先天性肺嚢胞性疾患における体細胞モザイク型変異の検出と発症機序の解明 (先天性肺疾患の発症機構を遺伝子レベルから解明する研究)
うつのみや しょうこ 宇都宮 聖子	国立情報学研究所 情報学プリンシプル 研究系	特任 准教授	【量子光学】 ファイバーレーザーネットワークを用いた超高速コヒーレントコンピュータの実現 (レーザー光の不思議な性質を使い、新しい原理で超高速コンピュータを開発する研究)
ぐん じん 宮 瑾	山形大学 大学院理工学研究科 機械システム工学専攻	特任助教	【高分子科学】 眼内レンズへ応用可能なスマートゲル材料の開発 (透明度を制御できる形状記憶ゲルの開発と眼内レンズへの応用)
さかた ようこ 酒田 陽子	神戸大学 大学院理学研究科 化学専攻	特命助教	【有機化学・錯体化学】 新規光応答性分子の金属錯体形成によるハイブリッド型機能材料の開発 (光によって構造変化する材料の開発)
すずき さわこ 鈴木 佐和子	千葉大学 医学部附属病院 糖尿病代謝内分泌内科	助教	【基礎医学・分子生物学】 生活習慣病・癌における新たな創薬標的探索を目指したGLS2のグルタミン代謝制御の解明 (グルタミン代謝が生活習慣病や癌にどのように関わっているかを明らかにする研究)
なんぼ あすか 南保 明日香	北海道大学 大学院医学研究科 生理学講座	准教授	【ウイルス学】 ウイルス感染細胞が放出する細胞外小胞エキソソームの機能解析 (ウイルスによるがん発生の仕組みを解明する研究)
はっとり あずさ 服部 梓	大阪大学 産業科学研究所	助教	【物性物理学】 強相関金属酸化物 3次元配列ナノ構造体でのフォトクロミック機能の創出 (新しい性質の光を生み出すナノ材料の開発)
はら めぐみ 原 めぐみ	佐賀大学 医学部医学科 社会医学講座 予防医学分野	講師	【疫学・公衆衛生学】 遺伝子修復酵素のDNAのメチル化に関連する生活習慣の究明による遺伝子修復機能の向上に着目した効果的なアンチエイジング方法の開発 (遺伝子損傷と修復に関連する生活習慣を解明する疫学研究)
みやがわ れいな 宮川 鈴衣奈	名古屋工業大学 産業戦略工学専攻	助教	【結晶工学・電子工学】 半導体膜の結晶成長における界面形成機構解明に向けたその場観察法の開発 (材料の物性を最大限に活かす半導体薄膜形成技術の開発)
みよし ひろみ 三好 洋美	理化学研究所 光量子工学研究領域	研究員	【細胞生物物理学・生体材料学】 低分子量 GTPases 活性を時空間的に操作する外場のマイクロ構造の最適設計 (細胞の機能をコントロールする微細な格子の設計)

<ご参考>

「資生堂サイエンスカフェ in 上智大学」

3月15日(土)、東京・四谷の上智大学でトークイベント「資生堂サイエンスカフェ in 上智大学 化学のワクワク★ドキドキをのぞいてみよう! ~私が科学者になったワケ~」を開催します。

今回のゲストは、第6回 資生堂女性研究者サイエンスグラントを受賞した化学研究者 鈴木由美子さん(上智大学理工学部 准教授)です。化学を研究する鈴木さんが理系に進んだきっかけなどについてざくばらんに語り合います。これから進路を考える中高生には進路選択の参考となる内容です。今後もこうした企画を通して多彩な分野の研究者たちの知をつなぎ、社会に還元するサイエンスコミュニケーション活動を推進します。



【資生堂サイエンスカフェ in 上智大学 開催概要】

日時	2014年3月15日(土)14:00-15:30 (13:30 開場)
内容・ゲスト	「化学のワクワク・ドキドキをのぞいてみよう! わたしが科学者になったワケ」 化学研究者 鈴木由美子さん (上智大学理工学部 准教授、第6回 資生堂女性研究者サイエンスグラント受賞者)
会場	上智大学 四谷キャンパス 10号館3階301会議室
ファシリテータ	蓑田 裕美 (資生堂学術室/国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター)
対象/定員	中学生以上ならどなたでもご参加いただけます/先着30名
参加費	無料
ウェブサイト	http://group.shiseido.co.jp/rd/doctor/grants/science/topics.html
主催	上智学院男女共同参画推進室・資生堂女性研究者サイエンスグラント事務局